

関係者別の成果のハイライト

ROSE（Removing Obstacles to cervical ScrEening）プログラム - 女性の子宮頸がん撲滅を支援

 患者	診断率の向上	2018 年から 2023 年までに合計 22,169 人の女性が、ROSE プログラムを通じて、検体の自己採取による HPV 検査を用いた検診を受けています（2023 年 2 月 28 日時点の最新情報）。 5.6% の女性が検診により HPV 陽性と確認され、そのうち 91% が治療につながりました。
	より早期の診断	以前の状態が不明であった初期段階の HPV 関連子宮頸がん患者 4 例と、その他、以前は同定されていなかった前がん状態の患者 194 例が確認され、治療につながりました。
	認識の向上	ROSE プログラムで子宮頸がん検診を受けた 22,000 人を超える女性には、子宮頸がん検診の重要性だけでなく、HPV 検査結果の意味についても教育を行いました。
	不名誉感の削減	「多くの患者は HPV が性感染症であると考えています。それを恥ずかしいと感じ、中には、パートナーが不倫をしたと非難する女性もいます。正しいメッセージを与えて教育を行うことは ROSE プログラムの基礎となるものです。HPV が一般的なウイルスであり、検査陽性となっても何か悪いことをしたという意味ではないということを人々に理解してもらうのに役立ちます。HPV 検査の標準化に向けた大きなスタートなのです。」 - Ifrah Amin、病棟看護師、マラヤ大学メディカルセンター
 臨床医	信頼性の向上	「HPV 検査は悪性病変の同定に 90% の感度をもつことが分かっています。ですから、特に ROSE プログラムで検診を受けていた場合、検査陰性であった女性を、自信をもって定期健診（次の 5 ～ 10 年間 HPV 検査の反復）で十分と告げることが出来ます。」 - Dr Farah Gan、マラヤ大学メディカルセンター、大学教育病院専門医
 医療制度 / 病院経営	評判の強化	ROSE プログラムは、少なくとも次に示す 4 つの主要な世界的医療組織から承認を受けています。 ・ 国際対がん連合（UICC） ・ 国際パピローマウイルス学会（IPVS） ・ 米国国立がん研究所（NCI） ・ 世界保健機関、表彰状（2017 年 11 月付け）。Rose Foundation の優れた業績に敬意を表しています。
 医療費	リスクの軽減	ROSE プログラムで検診を受けた女性の 2% では、子宮頸部の病変が確認されましたが、早期発見であったため簡単な処置で治療が行われました。このことから、2070 年までに子宮頸がんが 15,900 ～ 17,800 例、死者が 9,700 ～ 10,600 例減少すると計算されます ¹ 。

1. Keane, Adam, Chiu Wan Ng, Kate T. Simms, Diep Nguyen, Yin Ling Woo, Marion Saville, and Karen Canfell. "The road to cervical cancer elimination in Malaysia: Evaluation of the impact and cost effectiveness of human papillomavirus screening with self-collection and digital registry support." International journal of cancer 149, no. 12 (2021):1997-2009.